

# シロイチモジヨトウに対する薬剤殺虫効果 (2022年)

シロイチモジヨトウは幼虫が野菜や花きを食害し、特に葉ネギでの被害が問題となっています。薬剤によっては効果が低下し、生産現場では防除に苦慮しています。そこで、本虫に対する各種薬剤の効果検定を行いました。

ネギを食害する幼虫



ネギの被害



ホウレンソウの被害



表 3 齢幼虫に薬剤浸漬処理したキャベツ葉片を与えた時の殺虫効果と食害程度（室内試験2022年）

系統 (IRAC コード)	薬剤名	調査項目		補正死虫率						葉片の食害面積			処理濃度 (倍)	
		処理後日数	採集地	1日後			8日後			2日後				
				伏見 区	八幡 市	京田 辺市	伏見 区	八幡 市	京田 辺市	伏見 区	八幡 市	京田 辺市		
1A	ランネート45DF			×	×	×	×	×	△		○	×	×	1,000
3A	アグロスリン乳剤			○	△	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	2,000
4A	アルバリン顆粒水溶剤			×	×	×	×	×	×		×	×	×	2,000
5	ディアナSC			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2,500
6	アニキ乳剤			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1,000
1 1	ゼンターリ顆粒水和剤			×	×	×	○	△	○	△	○	○	○	1,000
1 3	コテツフロアブル			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2,000
2 8	ベネビアOD			△	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2,000
2 8	ヨーバルフロアブル			×	×	△	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	2,500
3 0	グレーシア乳剤			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2,000
3 0	プロフレアSC			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2,000
UN	プレオフロアブル			×	×	×	○	×	○	○	△	×	×	1,000

注) 補正死虫率 ◎ : 90%以上、○ : 70~89%、△ : 50~69%、× : 49%以下  
 葉片の食害面積 ◎ : 1%以下、○ : 1.1~3%、△ : 3.1~5%、× : 5.1%以上

処理1日後に高い殺虫効果を示したのは、ディアナSC、アニキ乳剤、コテツフロアブル、グレーシア乳剤、プロフレアSC、次いでアグロスリン乳剤でした。ベネビアODとヨーバルフロアブルは虫が死ぬのに時間がかかりますが、食害が止まる事から効果は高いと言えます。

## 留意事項

- 中～老齢幼虫は薬剤が効きにくいというえ、ネギでは葉身の内部に潜り込み防除効果が低下します。ほ場をこまめに見回り、若齢期に防除を行いましょう。
- 同じ系統の薬剤を連用すると殺虫効果低下のおそれがあります。